

「こどもまんなか社会」の実現のために、こども計画では自治体における施策や地域資源、こどもや子育て当事者等の意見を反映し作成するものとされています。

具体的なこどもまんなか社会とは・・・

○全てのこどもや若者が、保護者や社会に支えられ、生活に必要な知恵を身に付けながら

- ・心身ともに健やかに成長することができる
- ・個性や多様性が尊重され、尊厳が重んぜられ、ありのままの自分を受け容れて大切に感じる（自己肯定感を持つ）ことができ、自分らしく、一人一人が思う幸福な生活ができる
- ・様々な遊びや学び、体験等を通じ、生き抜く力を得ることができる
- ・夢や希望を叶えるために、希望と意欲に応じて、のびのびとチャレンジでき、将来を切り開くことができる
- ・固定観念や価値観を押し付けられず、自由で多様な選択ができ、自分の可能性を広げることができる
- ・自らの意見を持つための様々な支援を受けることができ、その意見を表明し、社会に参画できる
- ・不安や悩みを抱えたり、困ったりしても、周囲のおとなや社会にサポートされ、問題を解消したり、乗り越えたりすることができる
- ・虐待、いじめ、体罰・不適切な指導、暴力、経済的搾取、性犯罪・性暴力、災害・事故などから守られ、困難な状況に陥った場合には助けられ、差別されたり、孤立したり、貧困に陥ったりすることなく、安全に安心して暮らすことができる
- ・働くこと、また、誰かと家族になること、親になることに、夢や希望を持つことができる

○20代、30代を中心とする若い世代が

- ・自分らしく社会生活を送ることができ、経済的基盤が確保され、将来に見通しを持つことができる
- ・希望するキャリアを諦めることなく、仕事と生活を調和させながら、希望と意欲に応じて社会で活躍することができる
- ・それぞれの希望に応じ、家族を持ち、こどもを産み育てることや、不安なく、こどもとの生活を始めることができる
- ・社会全体から支えられ、自己肯定感を持ちながら幸せな状態で、こどもと向き合うことができ、子育てに伴う喜びを実感することができ、そうした環境の下で、こどもが幸せな状態で育つことができる

上記の赤字部分をベースに、設問案を作成しています。

調査結果については、こどもの現状把握として第2章に掲載を予定しています。

アンケート項目

No.	設問	回答選択肢	設問形態	備考	計画
あなた自身のことについて					
1	あなたの学年をお答えください。	1. 小学4年生 2. 小学5年生 3. 小学6年生 4. 中学1年生 5. 中学2年生 6. 中学3年生			
あなたの生活について					
2	あなたは、学校が終わった後の自由な時間に、どの場所で過ごすことが多いですか。 【〇は3つまで】	1. 自分の部屋 2. 自宅のリビング、居間など（自分の部屋ではないところ） 3. おばあさん・おじいさん・親せきの家 4. 友だちの家 5. 中学校（教室、保健室、図書室など） 6. 学校の部活動 7. 塾や習い事の場所、スポーツ教室 8. 公園や外の遊べる場所 10. ショッピングセンターやファーストフードなどのお店 11. 図書館や公民館、児童館などの施設 12. その他	M	○子どもの放課後の過ごし方の把握のため	
3	あなたにとって「ここにいたい」と感じる（ホッとできる・安心できる）場所は、どこですか。 【〇は3つまで】	1. 自分の部屋 2. 自宅のリビング、居間など（自分の部屋ではないところ） 3. おばあさん・おじいさん・親せきの家 4. 友だちの家 5. 中学校（教室、保健室、図書室など） 6. 学校の部活動 7. 塾や習い事の場所、スポーツ教室 8. 公園や外の遊べる場所 10. ショッピングセンターやファーストフードなどのお店 11. 図書館や公民館、児童館などの施設 12. こども食堂 13. その他	M	○子どもが居場所と感じている場所の把握のため	○第2章の現状把握として活用します。 ○居場所に関する現状と希望を把握するための設問のため、第4章・基本目標1の個別目標3及び基本目標6の個別目標2に関連するものです。 また、回答によっては、基本目標5の個別目標1・2・4への関連も予想されます。

4	<p>あなたが、こんなところがあったらいいと思うのはどんな場所ですか。 【〇はいくつでも】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一人でゆっくりできる場所 2. 自由に遊べる場所 3. 体をおもいきり動かせる場所 4. 友人と気軽にしゃべりできる場所 5. 趣味などが一緒に仲間が自由に集まれる場所 6. 音楽やダンスなど、家ではできない趣味をできるような場所 7. インターネットが自由に使える場所 8. 静かに勉強したり、本が読めたりする場所 9. 公園や自然がいっぱいある場所 10. 困っていることや悩み事を聞いてくれる場所 11. その他 12. 特にない 	M	<p>〇居場所に関して子どもが求めていることの把握のため</p>	
悩みについて					
5	<p>あなたはこれまで、何か悩んだことはありますか。それはどんな悩みですか。 【〇はいくつでも】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族のこと 2. 学校や勉強のこと 3. 部活動のこと 3. 自分のこと（心や体のことなど） 4. 友だちのこと 5. 好きな人のこと 6. 進学・進路のこと 7. その他 8. わからない 9. 悩んだことはない 	M	<p>〇子どもの悩みの把握のため</p>	
6	<p>あなたは、悩みを誰かに相談しましたか。（誰に話しましたか。） 【〇はいくつでも】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. お母さん・お父さん 2. きょうだい 3. おばあさん・おじいさん・しんせき 4. 中学校の友だち 5. 中学校以外の友だち 6. 中学校の先生・スクールカウンセラー 7. 塾や習い事の先生 8. こども専用の電話相談 9. SNSなどインターネットでの相談 10. インターネット・SNS・オンラインゲームで知り合った人 11. 近所の人 12. その他の人 13. 誰にも相談できない 14. 誰にも相談したくない 15. わからない 	M	<p>〇子どもの悩みの相談相手の有無の把握のため</p>	<p>〇第2章の現状把握として活用します。</p> <p>〇メインは、第4章・基本目標4の個別目標5に関連するものです。合わせて、基本目標5全体との関連を考えています。</p>
7	<p>どのような方法であれば相談しやすいと思いますか。 【〇はいくつでも】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対面での直接相談 2. 電話相談 3. SNSを活用した相談 4. メールでの相談 5. インターネット上の掲示板やチャットでの相談 6. その他 	M	<p>〇子どもが求める相談方法の把握のため</p>	

自分のことについて				
8	あなたは、つぎの①～⑤についてどのくらいあてはまりますか。【それぞれ○は1つ】			
	①今の自分が好きだ	1. あてはまる 2. どちらかといえばあてはまる 3. どちらかといえばあてはまらない 4. あてはまらない	S	○子どもの自己認識の状況把握のため ○第2章の現状把握として活用します。
	②自分は親から愛されていると思う	1. あてはまる 2. どちらかといえばあてはまる 3. どちらかといえばあてはまらない 4. あてはまらない	S	
	③うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む	1. あてはまる 2. どちらかといえばあてはまる 3. どちらかといえばあてはまらない 4. あてはまらない	S	
	④自分は役に立たないと感じる	1. あてはまる 2. どちらかといえばあてはまる 3. どちらかといえばあてはまらない 4. あてはまらない	S	
⑤自分は幸せだと思う	1. あてはまる 2. どちらかといえばあてはまる 3. どちらかといえばあてはまらない 4. あてはまらない	S		
地域での活動について				
9	あなたは、あなたの住んでいる地域で次のような活動に参加したことがありますか。 【○はいくつでも】	1. 近所のおまつり 2. 子ども会や地域などの運動会やクリスマス会などの行事 3. 公園や道路などのそうじ、地域の避難訓練 4. 児童館や公民館などでのイベント 5. その他 6. 参加したことはない	M	○地域社会とのつながり状況の把握のため ○第2章の現状把握として活用します。

将来のことについて					
10	あなたは、将来の夢がありますか。 【〇は1つ】	1. ある 2. ない 3. わからない	S		
11	あなたは、将来どんな仕事をしたいですか。 【〇はいくつでも】	1. 好きなことができる仕事 2. 自分の能力をいかせる仕事 3. 自分が成長できる仕事 4. 人の役に立つ仕事 5. 人に感謝される仕事 6. 危険の少ない仕事 7. 給料の高い仕事 8. 休みの多い仕事 9. その他 10. わからない 11. 特にない	M	○子どもの将来についての意識の把握のため	○第2章の現状把握として活用します。 ○第4章、基本目標6全体との関連を考えています。
12	あなたは、将来結婚したいと思いますか。 【〇は1つ】	1. 結婚したい 2. 結婚したくない 3. わからない	S	○結婚に関する意識の把握のため	
13	あなたは、大人になってからも日進市に住みたいと思いますか。 【〇は1つ】	1. とても住みたいと思っている 2. 住みたいと思っている 3. あまり住みたくない 4. できたら、ほかのまちに住みたい	S	○住んでいる地域への愛着の把握のため	
14	子どもや若者にとって日進市が住みやすいまちであるために必要なことは何だと思いますか。自由にご記入ください。				